

製品名: Sar1B ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17603**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	22kDa

抗原情報

遺伝子名	SAR1B
別名	SAR1B; SARA2; SARB; GTP-binding protein SAR1b; GTP-binding protein B; GTBPB
遺伝子 ID	51128.0
SwissProt ID	Q9Y6B6
免疫原	抗血清はヒト SAR1B 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 111-160

背景

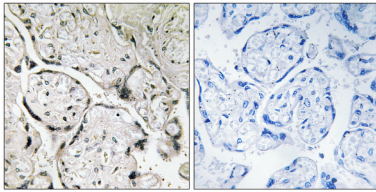
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ホモ二量体として機能する小さな GTPase です。コードされているタンパク質は、グアニンヌクレオチド交換因子 PREB によって活性化され、小胞体からゴルジ体へのタンパク質輸送に関与します。このタンパク質は

COPII コート複合体の一部です。この遺伝子の欠陥は、カイロミクロン停滞病 (CMRD)、別名アンダーソン病 (ANDD) の原因となります。この遺伝子には、同じタンパク質をコードする2つの転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2010年3月]、疾患: SAR1B の欠陥がカイロミクロン停滞病 (CMRD) の原因です[MIM:246700]。別名アンダーソン病 (ANDD) です。CMRD は、乳児期の発育不全に関連する重度の脂肪吸収不良を伴う常染色体劣性疾患です。この疾患は、脂溶性ビタミンの欠乏、血中コレステロール値の低下、および血液中のカイロミクロンの選択的欠如を特徴とする。罹患した個人は、大きな細胞質脂質滴を含む腸管上皮細胞の膜結合区画にカイロミクロン様粒子を蓄積する。機能:小胞体からゴルジ体への輸送に関与する。Gアニンヌクレオチド交換因子 PREB によって活性化される。タンパク質カーゴの選択と COPII コート複合体の組み立てに関与する。類似性:低分子 GTPase スーパーファミリーに属する。類似性:低分子 GTPase スーパーファミリーに属する。SAR1 ファミリー。細胞内局在:小胞体およびゴルジ体スタック、特に核近傍ゴルジ領域に関連。サブユニット:ホモダイマー。PREB に結合します。COPII コート複合体の一部。小胞体内の標的タンパク質の細胞質末端に結合する。組織特異性:小腸、肝臓、筋肉、脳など多くの組織で発現する。、

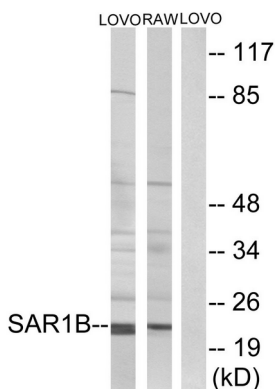
研究分野

シグナル伝達; シグナル伝達経路 G; タンパク質シグナル伝達; 低分子 G タンパク質; タンパク質輸送; 細胞小器官タンパク質; 小胞輸送; 調節; ER タンパク質

画像データ



SAR1B 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト胎盤組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



SAR1B 抗体を用いた LOVO 細胞および RAW264.7 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。